



学校だより 月花星

いじめをなくすために・・・

校長 亀山 正

5月は、2回の全校朝会を行いました。2回目は23日(木)に行い、石田生活指導主任が「いじめや嫌がらせを受けた人は、どんな気持ちなんだろう。そして、いじめや嫌がらせの反対は何だろう」と問い掛けました。答えた子どもたち数人の意見をまとめ、「いじめや嫌がらせの反対は、優しくすること」として、全校児童で約束しました。

そのことを受け、6月6日(木)の全校朝会では、私からは、昨年度も示したハート(悪口の矢が刺さったまま)を示し、子どもたちに「どんなことがいじめになるのだろうか」と問い掛け、近くの人と話し合ってもらいました。数人の子どもにも発表してもらい、「悪口、暴力、ズボンおろし、物を取る、物を隠す」等がいじめであるとまとめました。そして、「陰口、インターネットで画像や悪口をアップすることも、いじめ類似行為であり、やってはいけないことであると伝え、一緒に確認しました。

6月13日(木)には、松風委員会が中心になって、絆集会も行い、各クラスのめあてを発表し、現在取り組んでいる所です。今週からは、小池小学校では初めての活動である「ハートフル活動」を始めています。全校児童が、友だちにしてもらったよいことや優しくしてもらったことをカードに書いて、その友だちに渡す(届ける)活動です。この活動を通して、お互いが気分よく過ごせる機会が増えていくと嬉しいです。

子どもたちの会話からは、昨年度聞かれた「おい、〇〇」「おまえ」「うざい」「あおられた」等の乱暴な言葉が、今年度は少しずつ減っているように感じっていますが、まだなくなっているではありません。しかし、「小池小黄金のルール」を守り、これらの言葉がなくなり、いじめや嫌がらせがゼロになればと思います。そして全校児童で約束した「いじめの反対は優しくすること」ができ、「ふわふわ言葉」を使えるようになれば、皆が気分よく楽しく生活できます。「よいことをするのに遠慮はいらない、たくさんやっぺいこう」ということも、子どもたちに伝えています。6月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」でもありますし、ご家庭でも「いじめはしないで優しくすること」を話題にしていただければと思います。ご協力をよろしく願います。

6年生修学旅行～無事に行って来ました～

6月20日(木)、21日(金)の2日間、6年生は福島県会津若松市方面に修学旅行へ行き、無事に帰ってこることができました。初日は熱中症が心配される暑さでしたが、2日間とも天候に恵まれ、充実した時間を過ごせました。保護者の皆さん、準備、お見送り、お出迎え等、大変ありがとうございました。

さて、初日は、慶山焼き体験、飯盛山見学の後、会津藩校日新館に向かいました。日新館では、動画視聴や施設の方の講話から、会津藩に伝わる大切な掟「ならぬことはならぬものなのです」という教えを、学ぶことができました。今後の人生に於いて、ぜひとも心に留めておきたい言葉です。その後、野口英世記念館見学、桧原湖のモーターボート体験と続きます。モーターボート体験は、風を切って進む中で、桧原湖の美しさにふれることができ、いちばん思い出に残ったという子どもが多かったです。2日目は、鶴ヶ城見学、会津武家屋敷での赤べこ体験

全校朝会のプレゼン資料

いじめ・いやがらせの
ほんたいは・・・

みんなのこたえ

よいことをする



やさしくする

どんなことがいじめ？

悪口、なぐる・おす・ける、
あおる、悪ふざけ、物かくし、
物を取る・返さない

かけ口、インターネットに悪口を書きこむ

ズボンおろし
自分

ふわふわことば

がんばって ありがとう よかったね
すごいね ありがとう
おうんしてるよ ドンマイ
たすかったよ だいじょうぶだよ
うれしいね すばらしいね

友達に
やさしく
していこう！！

今から毎日やろう！ よいことはたくさん！



と続き、帰ってきました。

初日の出発式では、「思い出を作りに行くのではなく、学校でやっていることをいつも通り一生懸命にやれば、それがよい思い出になる」ことを話しました。そして、2日間とも、自分たちで声を掛け合い、きまりよく活動することができました。当たり前のことを当たり前に行い、自信を深め、6年生全員にとってよい思い出になったことと思います。そして、今回の旅行で関わった方々から、お褒めの言葉もいただきました。他にもありますが、一部を下記に紹介します。



- 日程がタイトであったが、てきぱきと行動できていて、素晴らしい。
- 訪れた施設の方の説明をしっかりと聞き、マナーよく行動していた。
- 部屋のメンバーで声を掛け合い、ホテルでの食事の開始時刻に遅れることなく、5分前行動ができた。ホテル内での他の場面でも、時間を守り行動ができた。昨年度の自然教室よりも、朝の準備が早くできた。
- 鶴ヶ城会館でのお土産購入が早く終わった人は、バスに戻ったら、しおりに学びを書いて待つことができた。
- 武家屋敷では、「ここは走ったらまずいと思うから、歩こう」という声が聞こえた。



6年生一人一人は、「今回の旅行で学んだ事を次に活かす」ことを思っているはずです。褒められ認められた今回の姿を続けていくことが、「今回の旅行で学んだ事を次に活かす」ことだと、考えます。学校生活の中でこの姿を続けていくことで、6年生自身も力を付け、それとともに小池小学校ももっと楽しく過ごしやすい学校になっていくはずです。6年生の皆さん、これからも小池小学校のリーダーとして、全校を引っ張って行ってくださいね。よろしくお祈りします。

お知らせとお願い

●登下校での熱中症予防のために

登下校での熱中症予防のために、下記のことをご留意ください。

- (1) 首に付けるタイプの保冷剤を着用することはOKです（マチコミメールでもお知らせしたとおりです）。水に濡らして冷やすタイプのタオルもOKです。ただし、授業での着用はしないこととしました。体育や遊びでは事故の危険性があること、教室内ではエアコンがあり快適な気温を保てることという理由からです。
- (2) 登下校では、必ず帽子を着用させてください。日傘の使用もよいです。（日陰になり体感温度を下げると同時に、紫外線を防ぐこともできます。）

●水筒の扱いについて

夏の暑さが増し、熱中症対策で誰もが持ってくる水筒の扱いについてです。県教育委員会からの通知があり、登下校時や校外学習時に、水筒を持ち歩いていて転倒した際に、首や肩に掛けていた水筒がお腹に当たり内臓を損傷する、といった思わぬ事故が発生しているとのことです。

そこで、子どもたちが水筒を持ち歩く際には、なるべくランドセルやリュックサック等に入れること、首や肩に掛けているときには走らずに歩くこと、体育館や外で遊ぶ場合は、水筒を持たずに、忘れない場所に置いて遊ぶことを指導しました。ご家庭でも、お子さんと話題にし、ご指導をよろしくお祈りします。

●名札について

当校では、入学時から、「胸に名札を付けて登校する」ことになっています。しかし、卒業式や入学式等の大切な行事や、保健の各種検診で名札を付けてこない子がいて、学校でもその都度、担任が指導しています。朝、玄関で出会う子、廊下ですれ違う子と話す時に、名札がなくて来校者や職員が名前を呼べないこともあります。そこで、職員間でも対策を検討しており、名札を学校に留め置くのはどうかという意見も出ています。もし、学校で留め置くことになりましたら、ご連絡いたします。